



安全だより

神奈川県安全赤十字奉仕団

平成 27 年 6 月 発行
第 106 号

◆平成二七年度の活動に向けて 委員長赤澤精二

四月二六日に行われました総会において、平成二七年度の役員及び基本方針等が承認されました。

役員については、ご都合により高橋氏と池田菊氏が退任され、役員が少なくなった状況ですが、今年度は何とかこのままで行うことといたしました。

役員各位にはご負担をかけることになりましたが、団員皆様のご協力をいただき事業を進めてまいりたいと思います。

平成二七年度の活動方針は、二六年度の方針を継続して充実してまいりたいと思っておりますが、団員皆さんの一層のご理解ご協力をお願いしたいことから、キャッチフレーズを「私たちが必要としている人がいます!! あなたにできることがあります!!」といたしました。



「健康安全プログラム」は、増加傾向がづづいており団員各位の積極的な参加をお願いしたいと思います。積極的な参加をお願いしたいと思います。積極的な参加をお願いしたいと思います。積極的な参加をお願いしたいと思います。積極的な参加をお願いしたいと思います。

今年度は、以前に一度行った日本赤十字本社見学を計画いたしました。

日本赤十字社の全国的な動きなど、今後の活動の参考になることも多くあるのではないかと期待しております。また、昨年からの何度となくお知らせしておりましたホームページがいにアップされましたので、この反響に期待するとともに今後の活用方法を更に検討して活動の充実につなげられようと思っております。

◆総会平成二七年度報告

石塚 みよ

四月二六日、日本赤十字社神奈川県支部にて、総会が開かれました。

総会に先立ち「奉仕団の信条」の唱和、総会成立の報告。相澤副委員長による『開会の言葉』

赤澤委員長の『委員長挨拶』皆さんが活動できる環境づくりを、情報の共有をと色々やったつもりではいるが、まだまだ足りないところがあったかと思う。二七年度の活動についても皆さんの意見を頂

きながら頑張っていきたいと挨拶。

来賓御祝辞では日本赤十字社神奈川県支部 事業部救護課 救護課長 笹子様より、ネパール地震で日本赤十字社から既に要員五名と助成チーム派遣。

昨年、県内の講習会数千二百三十一回、「健康安全プログラム」

「ここ安」を含めると約三万人が受講。これも奉仕団信条にある「陰の力となって」活動を支えて頂いているからと感謝の言葉を頂いた。

続いて事業部青少年ボランティア課 ボランティア係長 鈴木様より、最近の事件から「人の命を大切にすると強く訴える活動に注力すべきかと強く思う。信条の「常に工夫して」を実現すべく少しでも工夫し進

化させ活動して頂ければありがた





次に安全奉
顧問 石川様
より、今後も
工夫しながら
皆が頑張つて
大好きな赤十

字と安全奉の活動する事を楽し
みにしていると話された。

議長に大野さんを選出。議長
の挨拶どおり二六年度の活動報
告、決算報告、会計監査報告と
スムーズに議事は進んだ。

二七年度基本方針は昨年を踏襲
した形だが、ホームページの活
用が取組まれ、キャッチフレー
ズは個人個人のやる気を出して
欲しいとの意味合いも含め「私
たちを必要としている人がいま
す！あなたにできることがあり
ます！」

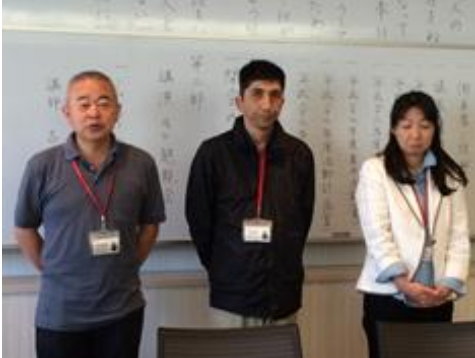
続いて二七年度の活動計画、
予算案、役員が承認。最後に委
員長より活動用ベストと「二七
安」についての説明がありまし
た。ベストは3サイズ二八枚、
個人購入も可能。番号を付け管
理する。「二七安」については、
支部との調整が計れるまで皆様
への報告が出来ず、不信をかつ
てしまったが、ご理解いただき

是非ご協力頂きたいと話さ
れ、時間にシビアである事、
均一的な指導内容で行う事が
強調された。

議長解任、新入団者三名の
紹介、笹井副委員長の「閉会の
言葉」で一部が終了。

二部では吉原(久)さんによ
る「ミヤンマー派遣での活動
報告」が行われた。今年度も笑
顔で活動が出来るよう頑張り
ます。ご協力を宜しく願ひ
します。

新入団員紹介



田島真也さん 富樫伸之さん 大西敏子さん

◆親睦ハイキング紀行

小田島 稔

「綺麗な桜花の中で親睦を深めまし
よう！」に誘われて参加しました。
時は、四月四日(土)。合言葉は、
『クジにジュウジ集合』でした。前
日は大風で桜の花があるのか心配し
つつ集合場所の南武線久地駅に集合
時刻より少し早目に着きました。十
時頃は、雨が降っていました。ハ
イキング(散策)開始の時は、傘はい
りませんでした。総勢？八名(赤澤
委員長・笹井・高橋・村野・古川・
松川・庄野・小田島)の進行開始で
す。

二ヶ領用水は、徳川時代に作られ
た農業用水路で桜の木も其の時代に
植えられた様です。ホントカナ？
この地域は現在、徳川400年祭り
のイベントを行っているみたいで
す。東名高架橋下を通過して、幅2m
位の用水路沿いに歩きます。さて桜
ですが、立派な花を付けていました。
遊歩道もしっかりと整備されており
なかなかの物でした。花筏の流れを
上流へと歩きますが、所々橋があっ
て、その下を潜って進む所があつて、
体の硬い私は大変でした。川崎市緑
化センターを通過し、多摩川の二ヶ
領用水取水口に着きました。

ここには、「せせらぎ館」がありイ
ベントが開かれていました。此処
まで約二・五キロ、ここから戻り
になります。

緑化センター迄戻り、お弁当タ
イム。地ビール・桜のおすし・筍
やワラビの煮物・落の臺の天ぷら
の差し入れがあつて、皆大喜び(東
京から買ってきたおまんじゅうも
あつたよ！)。

団運営の苦労や、活動の困つた
事を話ながらお酒を口に運びまし
た。この年齢(ゴメンナサイ)が集
まれば、やはり家族や自分の健康
の話になります。でも、皆元氣、
高齢者の特典を多に利用しまし
よう！！

桜もキレイ、昔の乙女もキレイ、
キレイ読みに、恥ずかしながら誰
かが用意した「今日の日はさよう
なら」を全員で歌って、親睦会を
終了としました。

曇り空ではありませんでしたが、寒く
もなく、良かった、良かったの花
見のハイキン
グでした。今回
の企画、また数
日前に下見迄
して準備した
運営に感謝い
たします。



◆救急法養成講習会を終えて

川本明子

救急法養成講習会は今回で二回目でしたが前回から二年近くも経っていた上、受講生が総勢四七名という大規模な講習だった事もあり遠足前の子供の様な楽しみ半分、指導員の皆様の足を引っ張らない様にしなければ、、、とプレッシャーを感じる気持ち半分で初日を迎えました。

当日、会場に入ると様々な年齢層の中でも特に若い(高校生〜二十代前半)と思われる方が多い事に気付き、自分の若い頃は救急法を学ぶ志も持たずに過ごしてきた事を深く反省すると同時に「日本の未来は明るいなあ」などと、お気楽な思いに浸っていました。

しかし、そんな浮かれた気分は講習開始とともに一変しました。四七名の受講生に対し、少しでも多くの実技を行って頂きたい!という指導員の方々の思いやりもあり講習は要点をしっかりと押さえつつ、かなり速いスピードで進んでいきついで行くのにやっとの状態でした。(私の実力不足の為にそう感じたただけだと思っております。)

そして私自身、昨年に幼児安全法指導員を取得させて頂き指導を学習するという視点で今回の受講を見つめ直した時に、学科・実技の時間配分やいかに集中して実技を身につけていただくか、また個人の学習速度に差のある方へどのようにアプローチを行ってあげれば良いか、など自分が抱えている「伝える事の難

しさ」に対し吉原主任指導員をはじめ先輩指導員の方々に細かくご指導頂き、尊敬と感謝の気持ちでいっぱいになりました。

今はまだ仕事・家庭・安全奉活動と3足の草鞋を履いている上、経験が浅い為まだまだ戦力になれていませんが亀の歩みでも一歩ずつ確実に前進し安全奉で自分の出来る事を続けていく事が、赤十字社の「苦しんでいる人を救いたい」という理念に繋がると信じて、これからも非力ながらも活動へ参加させて頂きたいと心に刻んだ三日間でした。

最後に大勢の受講生指導で大変な中、丁寧に指導点を教えてくださった先輩指導員の皆様、本当に有難うございました。

◆六十歳ならぬ六十三歳からの手習い!!合唱!!

笹井 靖雄

趣味について原稿を書くことになり、八年前から取り組んでいる合唱について書きます。



小生は、もともと呑みニユケーションが好きで、会社務めの頃から機会を見つけては、街に繰り出し仲間と飲んでいました。また飲めば最後はカラオケで歌うことが多く、帰宅の途路でも人通りが途絶えた道では歌いながら帰ったものです。

まずは、合唱に至る経緯からお話しいたします。六三歳になり定年を前にして、救急法以外でこれからの人生で何か出来るものはないかと考えました。

一つは今まで妻まかせだった町内会です。役員は輪番制となっており、自分の意思ではどうすることも出来ませんが、救急法を防災に生かすべく筋トレクラブに入り、心肺蘇生法とAEDの講習会を開催しました。

二つ目は健康のために昔やっていた卓球をはじめることになりました。同好会に申込み即参加しました。ラリーで体を動かし健康になればと入会したものの、実際は勝負しようぶの世界で、殺伐としたムードで楽しくありませんでした。どうしようかと考えている時、地元の合唱団に所属している卓球の仲間から練習を見に来ないかと誘われて行ったところ、いきなり『本日から入団の笹井さんです』と紹介されました。ペテンに掛けられたのですが、その場の楽しい雰囲気と優しい励ましの言葉に乗って、合唱に切り替えることにしました。

それが現在も所属している混声合唱団「いわと」です。さて合唱団に入った(二〇〇七年四月)ものの、カラオケ専門でやって

まいりましたので、楽譜は読めず、苦勞の連続でした(今でも)。

それでも先輩が作成してくれた音取りテープを頼りに、楽譜を拾い読みしながら練習をしました。二〇〇八年六月の団の五周年記念コンサートの前には、その先輩に近くの公園墓地等、人のいない場所で猛特訓を受け、何とか舞台上立つことが出来ました。これまでの合唱歴を披露しますと、混声合唱団「いわと」では ①五周年②七周年③十周年の記念コンサート、④毎年の「市民合唱のつどい」。⑤特別養護老人ホームへの慰問等。さらに横須賀市及び合唱団体連絡協議会が毎年主催する①團伊玖磨作曲 合唱と管弦楽のための組曲「横須賀」②子どものための音楽会③会津若松市激励訪問の旅への自主参加があります。

混声合唱団「いわと」は、昨年より新しい指導者を迎え、月三回の練習を行い、来年の演奏会に向け頑張っています。

混声の四声のハーモニーを是非聴きに来て下さい。

合唱での夢は、近い将来に「第九」に挑戦することです。



企画部だより (募集アンケート結果を含めて)

皆様お忙しい中、平成27年度上半期活動アンケートの返信をしていただき、ありがとうございました。

アンケート返信の段階では不参加予定で、後程参加が可能になった方は、是非企画部まで！ご連絡お待ちしております。

以下、7月以降のトピックスです。

① 健康安全プログラム 着衣泳の伝達研修 OJT(実地訓練)を開催します。

7月9日 午前 秦野市立南が丘小学校

7月21日 午前 横浜市立南希望が丘中学校

② 横浜市防災フェア(心肺蘇生・AED体験ブース)

8月22日(土)、23日(日)

③ 安全赤十字奉仕団主催の資格継続研修を開催します。

(幼児安全法支援員の資格をお持ちの方で有効期限が1年を切っている方が受講対象です)

9月12日(土): 幼児安全法資格継続研修(9:00~13:00)

受講を希望される方やお知り合いの紹介、指導員として協力いただける方もご連絡お待ちしております。

他にも今後、急な依頼に応じて事業協力等が追加になることが予想されます。突然に皆様のご協力をお願いすることがあるかと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。

企画部長：村野

企画部：吉原

訃報

5月7日に団員の内野氏が逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

訃報については、メールや電話で団員全員にお知らせしたつもりでしたが、伝わらない団員もおられたようで大変申し訳ありませんでした。今後の緊急連絡方法について、役員会で検討してまいります。



編集後記

高橋広報部長から引き継ぎ新メンバーでの編集活動となりました。

慣れない編集作業にとまどいながら、皆様のご支援により何とか発行することができ、大変感謝しております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

発行責任者

赤澤精二

広報部長

阿部浩幸

広報部

永野善則

